

技能教育 レポート

関東職業能力開発大学
校（栃木県小山市、渡邊
信公校長）は、1968
年4月に開設された小山
職業訓練所に端を発し、
改組改編を重ね2001
年4月に4年制大学校と
なった。カリキュラムは
1～2年の専門課程、3
～4年の応用課程で構
成。生産現場でリーダー
になれるプロフェッショ
ナルの育成を目指してい
る。

▽専門課程は▽生産技術
▽電気エネルギー制御▽

関東職業能力開発大学校



図面を見ながらの木造の手加工で道具の
使い方などを学んでいく

企業ニーズにも対応したプロ育成

電子情報技術▽建築一の
4科。ものづくりに必要
な基礎的な理論と基本的
な技能・技術を学習した
上で、実践技術者として
の素地を身に付ける。
建築科では、木造を中
心とする手加工で仕口や
継ぎ手作りを行いなが
ら、道具が扱えるスキル
を身に付ける。2年時に
5～6人のチームで2階
建ての模擬家屋を建てる
ことができるレベルにま
で育て上げる。内外装の
技能を習得し、模擬家屋
の外装にサイディングボ
ードを張り、湿式の左官
仕上げも体験する。
こうした実践でのポイ
ントは「自ら積算も行い、
コスト意識を持って作業
に当たること」と話すの
は杉村直哉学務課長。杉
村課長も建築科の技術指
導員として活躍してい
た。

専門課程で基礎的な技
術を身に付けた上で進む
応用課程では、木造に加
えRC造、S造を一通り
学ぶ。その上で自分がど
の道に進むかを見極め、
さらに専門性が高められ
るようにする。RC造で
は小規模な建物の基礎、
鉄筋、型枠からコンクリ
ート打設まで一連の躯体
工事を自ら設計、積算し
て行えるようにする。木
造は専門課程で建てた模
擬家屋よりもさらに規模

の大きな建物に挑戦す
る。S造は鉄骨を製作す
るファブリケーターとの
打ち合わせから始まる一
連の工程を手掛けられる
ようにする。
実践的技術者を育てる
大学校には、地元の栃木
県だけでなく他県や大手
企業を含め多くの企業か
ら求人票が集まり、校舎
入り口の壁に所狭しと張
られている。就職率は1
00%。技術・技能を4
年間みっちり学んで就職
し、即戦力の人材として
能力が生かせる仕事に就
くことで「離職率も低い」
（杉村課長）という。
地域の企業と連携した
開発課題にも熱心に取り
組む。今年発刊した『開
発課題15年史』（200
2～16年度）には、学生
たちが大学校で学んだ実
践的教育の成果が詰まっ
ている。

